

ひろしまの 土地改良



2023年 第271号



第20回ひろしまの農村フォトコンテスト 広報委員会特別賞

『雪だー！』 佐々木 陽介 （撮影場所：庄原市）

謹んで新春のお慶びを申し上げます

広島県土地改良事業

（水土里ネットひろしま）
団体連合会

会長 木山 耕三

副会長 奥田 正和

副会長 明岳 周作

副会長 上田 浩司

理事 吉田 隆行

理事 三村 裕史

理事 箕野 博司

理事 福岡 誠志

理事 箕田 英紀

理事 松田 一馬

理事 枝廣 直幹

理事 入江 嘉則

理事 平谷 祐宏

理事 高垣 廣徳

理事 高田 幸典

代表監事 今榮 敏彦

監事 久川 廣昭

監事 仲伏 英雄

令和五年元旦
外職員一同

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
広島県土地改良事業団体連合会
会 長 きやま こうぞう
木 山 耕 三

新年、明けましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より土地改良事業の円滑な推進と農業農村の振興、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

食料安全保障を取り巻く諸情勢が急激に変化しております。ロシアによるウクライナへの侵攻を契機とした食料事情の不安定化や地球温暖化による気候変動リスクの高まりなど、安定的な食料の確保に影響を及ぼしています。このことから、国内生産基盤を維持・強化し、食料を安全・安定的に確保するための抜本的な強化対策が求められており、生産者だけでなく消費者も含めた、幅広い層から理解が得られるような、食料・農業・農村基本法の見直しに期待しております。

さて、安全で安心な食料を安定的に供給し、農業を魅力ある産業として活力ある農村を実現するためには、農業の多様な人材育成・確保を進めるとともに、農地の集積や集約、大区画化、汎用化・畑地化等の農地整備や適時・適切な農業用水利施設等の保全管理が必要です。

また、近年、自然災害が多発化・激甚化するなか、防災・減災対策を強力に推進し、安全・安心な農村地域の暮らしを守るための、国土強靱化への取り組みがこれまで以上に重要となっております。

このためにも、農業生産基盤や農村環境基盤を着実に整備する必要があり、計画的な農業農村整備事業の推進が不可欠と考えます。

本会といたしましては、長年培ってきた技術と経験を最大限に活かして、「国の基」である農業の持続的発展と、食と活力ある農業・農村の実現に向け役職員一丸となって取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長
おおはま きよし
大 濱 清

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、平素から本県の農業・農村の振興に多大な御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年はここ広島で『G7広島サミット』が開催されます。世界に平和を発信していくとともに、世界中の方々に広島に関心をもっていただき、県内の農林水産物の魅力を感じていただき、絶好の機会と考えております。その一方で、昨年来、ウクライナ情勢等の影響による燃料や肥料価格の高騰は、農業経営をより一層厳しくさせております。さらには、農林水産物の国際価格の上昇は、国レベルでの食糧の安全保障の議論へとつながっています。

こうした農業を取り巻く環境が大きく変化している中、県といたしましては、農業農村整備事業により生産性や収益性を向上させることが可能となる環境づくりを進め、農業の担い手と地域が連携して安定した経営ができるようにしていくことも重要であると考えております。

このため、農地の大区画化や用排水路の整備、また、畑作物の生産に不可欠となる排水対策などの基盤整備により、スマート農業技術を十分活用できる環境を整え、地域の中心となる担い手への農地集積と集約による生産性向上や省力化、高収益作物の導入による収益性の確保を実現して参ります。

また、用排水施設などが老朽化し、農業生産に甚大な被害を及ぼす事故が全国各地で増加してきております。農業に不可欠な水を安定して確保し続けられるよう、施設の機能維持のための点検と保全対策、さらにはICT技術を活用した管理の省力化なども地域や管理者とともに取り組んで参ります。

さらには、全国的に豪雨が頻発していることから、まずは、平成30年及び令和3年農地・農業用施設災害復旧事業を早期に完了させ、地域で安心して暮らしていけるよう、防災・減災対策を強化することも必要でございます。とりわけ、本県に多い防災重点農業用ため池の防災・減災対策につきましては、迅速な避難や管理強化などのソフト対策と補強や廃止などのハード対策を総合的に推進して参ります。

このような、農業基盤の整備、農地や農業用施設の保全対策並びに防災・減災対策などの農業農村整備事業を着実に進めていく上では、国、市町並びに土地改良区をはじめとした、関係の皆さまの御理解・御協力が不可欠でございます。引き続きの御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、農業農村の振興と皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

令和5年1月

農業農村整備の集い

令和4年10月20日（木）東京・平河町のシェンバツハ・サボーにおいて、「農業農村整備の集い-農を守り、地方を創る予算の確保に向けて-」が開催されました。

当日は、藤木 眞也農林水産大臣政務官をはじめ、衆参両院の国会議員、全国の土地改良関係者約1,100名が参集しました。

開会にあたり、主賓者挨拶で全国水土里ネットの二階俊博会長が、男女共同参画の目標達成へ本格的に取り組むよう呼びかけられました。

財務省や農林水産省に対する要請文が満場一致で採択された後、全国水土里ネット女性の会の活動報告が行われ、盛会のうちに終了しました。

閉会後は、上田副会長等が農林水産省や地元選出の国会議員に対して、農業農村整備の推進と予算確保に対する要請活動を行いました。

第44回全国土地改良大会 沖縄大会の開催

令和4年11月22日（火）大会テーマ「^{みどり}水土里の^{ひら}拓くみるく^ゆ世を鳴らし^{しゅれい}とうゆまし^{くに}守禮の邦から」の下、3年ぶりに開催され、全国から約2,300名の農業農村整備事業関係者が沖縄市・沖縄アリーナに参集しました。

活力ある農業農村の創造に向け持続的な農業・農村を可能とするため「水」「土」「里」を守り、引き継いでいくことを高らかに宣言し、次回開催となる第45回全国土地改良大会 福井大会に引き継がれました。大会式典中に行われた令和4年度土地改良事業功績者表彰では、福山市土地改良区常務理事 杉原 郁充氏が受賞されました。



全国土地改良大会 会場（沖縄アリーナ）



土地改良事業功労者表彰 杉原郁充 氏

庄原市内土地改良区 合併予備契約書調印式の開催

令和4年11月1日（火）庄原市役所にて庄原市内土地改良区の統合に向けた合併予備契約書調印式が開催されました。

調印式では市内5つの土地改良区の理事長、木山 耕三庄原市長並びに防田 浩基広島県北部農林水産事務所長の立ち合いで行われ、調印を終えた各理事長は新生庄原市土地改良区の発展に決意を新たにしました。

合併に関する基本合意では以下の内容が挙げられています。

1. 引き継いだ土地改良施設は土地改良区が一元管理する
2. 庄原市と連携し長期的視野に立った事業計画を策定し組合員に提供する
3. 組織運営の更なる効率化を図る
4. 地積割賦課金を無くし、受託事務の拡大強化に努める（換地事務、多面的支払い等）
5. 女性役員の登用を目指す

新たにスタートする庄原市土地改良区は旧比婆郡内の土地改良区（西城町・比和町・口和町・高野町）を編入し、地域面積は約5,500ha・組合員数5,700人余りとなり面積では県内最大級の土地改良区となります。今後、各土地改良区の合併総代会、県への認可申請を経て令和5年4月1日正式に合併認可となる予定です。



木山市長の祝辞



木山市長と各土地改良区理事長

令和4年度土地改良区役職員研修会の開催

令和4年11月8日（火）土地改良区の理事・監事・職員を含む役職員や広島県・市町担当職員、広島県土地改良事業団体連合会職員を対象に、土地改良区運営に関する研修会を開催しました。

約60名が参加した研修会では、令和4年4月1日より施行された土地改良法の一部改正により拡充された土地改良事業団体連合会の事業についての概要や監査・内部点検・財務諸表の作成手続きなど複式簿記に関する実務の説明がなされました。



中国四国土地改良事業団体連合会技術部会の開催

令和4年12月16日（金）中国四国9県の土地改良事業団体連合会による技術部会をWEBにより開催しました。

本年度の主な議題は、「土地改良法改正に伴う取り組みについて」、「農業集落排水事業における維持管理適正化計画の策定について」、「ため池整備について」など、意見を出し合い情報共有しながら、課題解決へ向けた取り組みを行いました。



未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2022

「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2022」に全国各地から多数の作品が寄せられ、全2,993作品の応募の中から、入賞31作品、地域団体賞44作品、入選126作品が決定しました。広島県からは、入賞5点、地域団体賞3点、入選16点が選ばれました。



全米販ごはん彩々賞

「田んぼでおにぎりおいしいな！」
小畑 桃々華 (福山市立多治米小学校)



MAEDAちきゅうとみらい賞

「蛙のレストラン」
内藤 弥比古 (杉原学園 松永幼稚園)



TAISEIいきいき賞

「おたまじゃくしとにらめっこ」
藤木 穂光 (三光学園 神辺千鶴幼稚園)



やまびこ賞

「ぼくのトマト畑」
平櫛 結士 (杉原学園 松永幼稚園)



ヤンマーアグリ賞

「来年はのせてもらおうね」
季平 遊喜 (福山市立山南小学校)



水土里ネット祇園 八木用水賞

「おばあちゃんのはたけでなすをとったよ。」
西廣 芽依 (広島市立毘沙門台小学校)



水土里ネット福山 優秀賞

「めがまわる～」
松尾 日菜葵 (三光学園 千鶴幼稚園)



水土里ネット福山 くawaii大賞

「くawaii～大きくなあれ～」
宮本 桃花 (福山市立新涯小学校)

人 選



「ブルーベリー狩り」
石田 詩
(杉原学園 松永幼稚園)



「秋の田んぼ」
石田 健翔
(杉原学園 松永幼稚園)



「かわいいダンゴムシ」
卜部 心夢
(三光学園 千鶴幼稚園)



「いっしょにあそぼうよ!!」
岡田 航季
(三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「てんとうむしにへんし〜ん!!」
折口 遥紀
(三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「ザリガニおやこ」
川西 菜七子
(三光学園 千鶴幼稚園)



「田んぼとトンボ」
北岸 陽翔
(杉原学園 松永幼稚園)



「ダンゴムシさんとおともだち」
寺岡 凜乃
(三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「花火に光る稲穂」
富田 瑛斗
(杉原学園 松永幼稚園)



「大切なお友だち」
中光 市帆
(三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「カエルをつかまえたよ」
開本 晴香
(杉原学園 松永幼稚園)



「田植えを見に行って」
藤井 佑朱
(杉原学園 松永幼稚園)



「いちごがいっぱい」
小林 凖央
(安田学園 安田小学校)



「おじいちゃんのおいしいなす」
藤田 湊
(福山市立新涯小学校)



「夏休みの収穫」
佐藤 光志朗
(福山市立久松台小学校)



「がんばってくわい畑をたがやすぞ」
小川 拓哉
(福山市立川口小学校)



広島県ため池支援センターだより

◆ため池のパトロールを開始しました

広島県ため池支援センターでは、昨年度行った劣化・豪雨診断の結果、健全度が低いと判断されたため池のうち、取水施設の水位調整機能が劣化している、堤体に漏水が確認できる、洪水吐の放流能力及び余裕高が不足している、などの項目で経過観察が必要と判断された204池のパトロールを行い、劣化が進行していないかなどを確認しています。

このうち、劣化の進行が認められたため池について、市町の担当者及び管理者の方へ、今後の管理方法等について助言・指導を現地で行っていきます。



取水設備の状況



堤体の漏水・崩壊

【お問合せ先】 広島県ため池支援センター（事業部ため池支援課） ☎ 082-502-7478

農地・水・環境 NEWS

広島県農地・水・環境保全協議会

令和4年12月13日（火）土地改良会館において、令和4年度多面的機能支払交付金（農地維持支払・資源向上支払）研修会を開催し、約20名の活動組織の方々が参加しました。

研修会では、農業機械（刈払機等）の安全使用及び事故事例や、実施状況報告書の作成、農業用施設の日常点検について本事業への取り組みに向け理解を深めました。



活動を行う前に、必ず保険に入りましょう

本交付金の共同活動では草刈りが必須の活動であるため事故件数も多く報告されています。共同活動を行う際には、必ず保険に入りましょう。

活動に当たっては、参加者一人ひとりが事故防止の意識を持つことが大切です。協議会では「刈払機取扱作業安全衛生教育」を実施しております。開催ご希望の方は、協議会事務局までお問合せください。

【お問合せ先】 総務部地域支援課 ☎ 082-502-7476 FAX : 082-502-7480 E-mail : shigen@hdn.or.jp